

## 臨時記者会見

開催日：平成 29 年 5 月 30 日（火）

開催場所：盛岡市役所別館 4 階 403 会議室

開催時間：午前 11 時 30 分から午後 12 時 30 分まで

- 次 第：1 開 会  
2 発表事項  
県央ブロックごみ処理施設整備候補地の公表について  
3 閉 会

### 会議結果・要旨

発言者	内 容
事務局	1 開 会 事務局から開会を宣言
会長 (盛岡市長)	2 発 表 それでは県央ブロックのごみ処理施設整備候補地に関する発表をさせていただきます。本市を含む盛岡広域圏 3 市 5 町と広域圏内のごみ・し尿を処理する一部事務組合で構成する県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会では、平成 41 年度からの稼働を予定している、県央ブロックのごみ焼却施設の整備候補地について、本日御出席いただいております中澤委員長を始めとする 10 名の委員で構成する「県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会」を設置し、平成 27 年 9 月から平成 29 年 3 月までの二年にわたる選定を進めてまいりました。検討委員会からは平成 29 年 3 月 30 日に協議会に対して検討委員会報告書が提出され、最終候補地として三箇所が報告されております。 また、検討委員会による候補地の選定とは別に平成 29 年 1 月および 4 月に、盛岡商工会議所都南地域運営協議会から盛岡南インターチェン

ジ付近への整備を誘致する内容の県央ブロックごみ処理施設整備候補地についての要望書が提出されております。協議会では検討委員会からの報告書および都南地域運営協議会からの要望を受け、平成 29 年 5 月 24 日に平成 29 年度県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会を開催し検討委員会が選定した三箇所と、盛岡商工会議所都南地域運営協議会から要望のあった一箇所の、合わせて四箇所の取り扱いについて協議し、これら四箇所を整備候補地として決定しましたので本日公表するものであります。

整備候補地四箇所についてはお配りしている資料 1 ページの表に記載されております。表示の番号は南側の整備候補地から順に振番しているものであります。

はじめに①の盛岡南インターチェンジ付近です。盛岡商工会議所都南地域運営協議会から要望のあった場所であり、基本構想で想定している中継施設は三箇所の整備予定ですが、このうち一箇所が不要となる可能性がある場所であります。

次に②の都南工業団地付近です。ごみの排出重心に近く、収集運搬の経済性に優れている他、①と同様に中継施設一箇所の整備が不要となる可能性がある場所であります。

次に③の盛岡インターチェンジ付近です。この場所もごみの排出重心に近く、収集運搬の経済性に優れている他、敷地も平坦で大規模な造成工事を必要としない可能性があります。なお、この場所は平成 28 年 8 月、協議会において市民に対し、整備候補地適地の情報提供を求めた際に土地所有者からの情報が寄せられた場所であります。

そして④の盛岡市クリーンセンター敷地です。現在の盛岡市クリーンセンター敷地でありますことから新たな造成工事が不要であり、施設を稼動したまま新施設の整備が可能な場所です。また、既存の余熱利用施設の活用が可能な場所であります。

これら四箇所の整備候補地の位置については資料の 4 ページから 6 ページの図に表示してありますので後ほどお目通し願いたいと存じます。

	<p>次に、今後のスケジュールにつきましては、3ページの5に記載してありますように、それぞれの整備候補地周辺の町内会・自治会に対しまして、整備候補地決定の経緯などを説明した上で地元住民の皆様への説明会を重ねながら、平成30年2月を目処に整備候補地一箇所の決定を目指して参りたいと存じております。以上であります。</p>
事務局	<p>ただいまの発表について御質問があればお願いします。</p>
記者	<p>今回要望のあった一箇所を加えて四箇所ということですがけれども、この四箇所の中で、フラットな状態での四候補なのか、それともどこか優先順位がある上での四候補なのか。</p>
環境部長	<p>今のところ四箇所すべてフラットということのでどこを優先というもので考えているものではありません。</p>
記者	<p>場所によっては今後の説明会の状況にもよると思いますが、既に建設反対というような市への要望や今後そういう活動に出る地域も予想されますが、こういった形で説明を進めて合意形成を図っていくのか。</p>
環境部長	<p>そういうお話があるのはそのとおりです。これから本日発表した内容、それから報告書もそのとおりですが、これらを丁寧に地域の方々に説明させていただきながら、色々な意見がそれぞれの地域であると思いますが、丁寧に説明していく中で御理解をいただきたいと考えております。</p>
記者	<p>今後四箇所から一箇所に絞込みを行う上で重要視する点、例えばコストであったり住民との合意形成であったり、こういったものを一番重要視する点として考えているのでしょうか。</p>
環境部長	<p>検討委員会からいただいた報告書にもありますが、一番は住民の方々</p>

記者	<p>との合意形成、御理解が一番であると思っています。色んな要素はあるとはいえ、一番その部分を大事にしていきたいと思っています。</p> <p>住民との合意形成という、どのくらいの住民が合意すればいいとか指標はあるのでしょうか。</p>
環境部長	<p>現時点で指標や基準を定めているものではありません。繰り返しになりますがこれまでの経緯、必要性を丁寧に御説明しながら御理解いただきながらと考えております。</p>
記者	<p>昨日、盛岡市が松園地区と米内地区においてになって説明をされたわけですが、現クリーンセンターと地元から要望のあった盛岡南インター付近と合わせて四箇所だと説明されたわけですが、その前に私が担当課に聞いたときに、協議会で5月30日までは公表しないとされていたのですが、その前に公表された形になったのかなと受け止めているのですが、それは協議会の決定を覆すような、破ったような形にはならないかをどうお考えなのかが一つと、協議会非公開の理由に市議会に説明する前に公表するのであれば市議会軽視であると議員の方達には説明していたようですが、議会軽視にあたるのではないかと、2つのことについて会長がどうお考えなのか伺いたいです。</p>
会長	<p>昨日の状況というのは把握していないのですが担当からでよろしいですか。</p>
環境部長	<p>昨日の説明会とおっしゃられておりましたが、説明会という形で例えば本日の資料ですとか、そういったお話はさせていただいておりません。昨日お話したのは今日のスケジュール、今までも覚書の関係で色々な情報提供を先にさせていただいた経緯もございますので発表いたします、というお話だけをさせていただいたものであります。説明会というお話でしたけども資料は使っておりませんし、発言させていただいた</p>

	<p>内容もそのとおりだと思っております。</p> <p>議会軽視のお話ですが、あくまで今日の発表の場面を記者の方々を通じて市民の方に、市議会を通じて議員の方にもそうですが、市民の方々への発表の場ということで設定させていただくというお話ですので、この部分は時間的に午前と午後という形にはなりますけども、同日という形で広められるところにお伝えしていきたいという主旨でもっての設定をさせていただいたところではあります。</p>
市長	<p>昨日の流れは分かりませんでした。今後のスケジュールについて、既に設置されている場所ということもあって丁寧な説明をしたということではないのかなと捉えさせていただいております。</p>
記者	<p>要望のあった候補地①の盛岡南インターチェンジ付近ですが、元々検討委員会の候補地の中の選択肢に入っていた場所でしょうか、それとも入っていないで新たに今回候補地になったのでしょうか。</p>
環境部長	<p>検討委員会の検討の中では、一番最初的时候は盛岡地域の全域が対象となっていたわけですが、除外要件を設定させていただいたときに一旦外れていたものです。</p>
記者	<p>除外要件とはどういったことだったのですか。</p>
環境部長	<p>資料の3ページにまとめて書いてありますが(2)要望に対する考え方で、なお、のところですが平成28年8月の時点で除外要件の設定をしているのですが、例えば建築物、それから圃場整備の条件のところは外しているのですが、仮に所有者の方が、こちらの作業としては最適な作業としては外していてもそれでも候補地としていい、という情報がもしあればいただきたいと考えておまして、昨年8月時点で募集期間を設けたものです。その際には圃場整備の条件のところでは都南地域は入っていなかった状況ですが、今回御要望がありましたので方向性につきまして</p>

	<p>しては御了承いただいておりますので、その辺を考慮いたしまして今回候補地とさせていただいたところです。</p>
記者	<p>この整備のどの要件に引っかかったのですか。</p>
事務局	<p>圃場整備5ヘクタール以上という点がありまして、この要件に該当しております。</p>
環境部長	<p>参考までに報告書の6ページのところに作業を進めてきた条件を記載したところがありますが、③のところでは60箇所あたりですが5ヘクタール以上の農地、というところがあるかと思えます。</p>
記者	<p>今の話に関連してですが、都南の地点というのは土地所有者の承諾は得られているということで宜しいのでしょうか。</p>
環境部長	<p>承諾までは至っていないものと我々は捉えております。御要望いただいた中で地域の団体からの要望ではありますが、所有者の方をきちんとリストアップしてのレベルではないと伺っておりますが、地域の方々からのお話ですし、ある程度のお話をされているところもあるのかなと。ただ、この部分についての確認というのはこれからになると思っております。地域の方々の構成団体としまして、全員が入っている団体ではないとは思いますが、積極的なお話なので今後の確認作業の中でやっていたらと考えております。</p>
記者	<p>除外要件の解除の条件を満たしていると捉えている、ということで宜しいですか。</p>
環境部長	<p>はい、そうです。</p>
記者	<p>承諾を得られている場合には、と書いてありますが得られていない場</p>

環境部長	<p>合にも同等の主旨として捉えているということですか。</p> <p>はい、そのように考えております。</p>
記者	<p>それに関連して、結果的に加えられた一箇所というのは検討委員会では除外された状態で検討されていないという上で三箇所だけで検討したところに加えられた形になっていると思いますが、選定委員会としては13回も議論して三箇所に絞った後に一つ増えたということになると思いますが、本来であれば委員会に差し戻してそれも含めて検討したうえで三箇所なり四箇所なりに絞るのが本来の手続きなのではと思いますが、一箇所増えたことに関して中澤委員長はどうお考えなのでしょうか。</p>
環境部長	<p>先に宜しいですか？資料にもありますが、先にお話が来たのが平成29年1月です。その時点では具体的な場所というのは示されていない状況でした。検討委員会は開催されている期間でしたので報告はしたのですが、場所が書かれていない、仮にその後要望が出てきたときには、検討委員会でなされた評価項目であったり、やり方に沿って判断されるように、という議論が検討委員会の中でありましたので、それを踏まえた上で委員会に諮って今回の決定ということで進めさせていただいたものです。</p>
記者	<p>だったら検討委員会の議論は意味を成さないのでは。検討委員会で決めた後にどんどん追加される形になるのであれば、検討委員会を設置して検討すること自体の意味を成さなくなる印象を受けるのですが。</p>
中澤委員長	<p>選定するにあたって客観的なデータに基づいて選定というプロセスと、もう一つ去年の8月に情報提供という形で出来るだけ焼却施設を有効利用してコミュニティを形成するとか地域の活性化等に役立てるといふ場所が分かれば、それは評価して出来るだけ選定に候補として詰め</p>

	<p>たいと思ひまして、8月時点で情報提供を求めたら一箇所出ましたので、それは情報提供が出る前から候補地として最適な条件を適えているところでしたので、そういうのが今年1月に盛岡南インターチェンジが出ましたが、希望、要望に関しましてはしっかり受け止めて候補地として選定をすべきだ、というのが検討委員会の意見であり、ただし時間的に検討委員会で協議するのは難しい、ということで今までの選定プロセスに則って、協議会で検討していただいて、最終的に判断をしていただいた結果を検討委員会のメンバーには連絡するという形でした。</p>
記者	<p>今回の候補予定地四箇所で、地域住民の方から慎重な意見とか要望書を出されている場所というのはありますか。</p>
環境部長	<p>クリーンセンターの敷地のところにつきましては撤回を求める会、という方々からいただいているものがあります。</p>
記者	<p>何の会ですか。</p>
環境部長	<p>報告書の15ページに記載しておりますが「ごみ処理広域化計画の撤回を求める会」から頂いております。</p>
記者	<p>四箇所ですとここだけですか。</p>
環境部長	<p>はい、こういった形（要望書）で頂いているのはこちらだけです。</p>
記者	<p>頂いた資料の2ページ目の要望書の取り扱いについてのところで、現クリーンセンターに係る覚書の取り扱いについては盛岡市が自治会と誠意を持って協議することとありますが、現段階で覚書について地元と盛岡市でかなり言い分が食い違っている部分があると思いますが、今後進める上で市としては覚書については食い違いを埋めていくお考えでしょうか。</p>

環境部長	<p>まずは今までの経緯もありますが、どこが食い違っているのかをお互いに話し合う部分が必要なのかなと思います。それに合わせながら考え方についても御説明しながら、お聞きしながら進めていくことが必要かなと思います。</p>
記者	<p>覚書のなかでは分散型立地を原則としてとありますが、県央ブロックの一箇所集約というのは覚書には該当しない、と市と協議会は考えているのでしょうか。</p>
環境部長	<p>場所の数の具体的な話ですので、該当しないのではなく該当する、と思っておりますが、今まで色んな御意見があるわけですが、市と地域の方と結んだ覚書です。今回進めている作業は広域8市町の作業の中でありまして、だからといって覚書を無視する形は取るべきではない、と思っておりますが、実質的に違う部分というのはありますので、そこは考え方も合わせてお互いに確認をしていく必要があると思っております。</p>
記者	<p>1 ページ目のところで中継施設、例えば盛岡南インター一箇所が整備事業になるとか、その下も整備事業になると記載がありますが、中継施設というのはどこに何箇所想定していて、そのうちの1つが不要になるという意味だとは思いますが、どこに何箇所を想定しているのでしょうか。</p>
環境部長	<p>今日はお配りしておりませんが、基本構想という冊子が平成27年1月に出来ました。その中で、想定ではありますが八幡平市、岩手・玉山環境組合、今の盛岡・紫波地区環境施設組合の三箇所を想定しております。</p>
記者	<p>今回の選定については、アクセス、経済性、環境面についても協議会としてはクリアしているとは思いますが、今後住民との合意形成を丁寧</p>

環境部長	<p>に行っていく中で、何を一番強調して説明していくのか、前のクリーンセンターの話もあると思いますがいかがでしょうか。</p> <p>地域にお住まいの方はやはり非常に気になる部分だと思いますし、色々御意見いただいている中にもあります。これからの部分につきましては、例えば今のクリーンセンターにつきましても覚書に基づいた協議会という組織がありまして、公害の値のチェックを続けて行っている組織があります。そういう形を今後も継続していかないといけないと思いますし、基準値につきましても全国的に見ますと色々な基準の設定の仕方がありまして、今の盛岡市クリーンセンターも国より厳しい基準になっておりますので、その辺も新たな場合につきましても技術的な進歩もありますので適宜説明をしていきたいと思っております。</p>
記者	<p>安全性以外にこの施設が地域に来ることのメリットがあると思いますがその点についてはどうでしょうか。</p>
環境部長	<p>いろんな形で地域からの要望書もありますが、この施設を例えば余熱であったり、色々なエネルギーの源としての使い方も他の都市ではありますし、単にその部分だけではなく、地域振興にも役立てたいという積極的な意見を出していただいているところもありますので、総合的にお話していきたいと考えております。</p>
記者	<p>③ですが平成 28 年 8 月に所有者からの情報が寄せられたということですが、これは土地所有者から候補になるなら使っていいという情報提供だったのでしょうか。</p>
環境部長	<p>先ほどの建築物、圃場整備のところでもお話させていただきましたが、除外要件にはしておりますが土地の所有者、例えば自分の土地を使ってよいという場面であれば、面積のなかである部分だけ建築物があるとか、簡易的な建築物であって所有者が別の使い方も考えられるから候</p>

	<p>補地として使ってもよいという主旨のものがあれば積極的に受けるべきだろうと情報提供の期間を設けておりましたので、その中で提供いただいたものです。</p>
記者	<p>所謂自分の持っている土地が該当するのではないかと、という売込みのような形だったのでしょうか。</p>
環境部長	<p>はい、所有者の方からです。</p>
記者	<p>所有者とは一人ですか。</p>
環境部長	<p>お話があったのはお一人です。</p>
記者	<p>この四箇所から今後絞り込んでいく作業になると思いますが、それぞれの候補地の住民の合意形成とかスタンスとしては非常に前向きなところと、逆に反対なところもあってこれから合意形成が必要な部分それぞれに分かれると思いますが、絞りこむ作業の中でどれほど重要視していくのか、住民のスタンスを重視するのか、それともそれはそれとして立地の条件、メリットをあくまでもフラットに見ていくのかお聞きしたいです。</p>
環境部長	<p>検討委員会から頂いている報告書にもありますが、13 ページになりますが周辺住民の合意形成という部分があります。御協力いただくことがまず必要ですし、誠意をもって説明を行っていきたいです。それから合意形成の図られた場所というのが一番になるのではないかなと思っています。ただどの項目でどの何点という部分を考えている部分ではありませんので、お話をさせていただきながら御理解をいただく、というところが一番ではないかと考えております。</p>
記者	<p>最優先にされるということですか。</p>

環境部長	最優先の位置づけということで考えております。
記者	ということは四箇所の中で、仮にできればここが良いのではないかという結論が出たとしても住民の合意形成が難しければ決定という結論は出しにくいということでしょうか。
環境部長	細かい流れやスケジュールはまだ想定していませんし、これから各地域に入って説明を聞いていただくという流れです。ただスタンスとしては、お話をさせていただいたとおりに合意形成を優先して考えていきたいと思っております。
記者	出来上がらなければ決定とは至らないということですか。
環境部長	その辺がどれくらいの期間、流れになるのかはまた説明に入りながら考えていきたいと思っております。
記者	会長は合意形成という部分の重要度はどのようにお考えでしょうか。
会長	基本的には大変重要なポイントだと思います。プラスコスト面の問題ももちろん、造成にどれくらい必要だとか色んな要因ももちろんあるわけですし、地域のメリットというお話もありましたが、提案されている中には農業の振興、余熱エネルギーを活用して色々展開していきたいという積極的な地域もありますし、様々なお話を伺いながら総合的に判断していくということになりますが、やはりできるだけ多くの方々の合意を得られるのが望ましいと思っています。それから、かなり焼却施設の機器の精度が上がってきていることの安全性がこれまで以上に高まっているとは思っておりますが、それらをきちんと説明しながら進めていくことも大切なポイントになるのではないかと。今、街中にも随分焼却施設が全国的に見ると出来上がっていますが、そういう基準の捉え方で

	<p>すとかを住民の皆様 nationwide の状況を御理解いただけるように説明していくのも大切かなと思っています。</p>
記者	<p>現時点で前向き後ろ向き、各候補地がありますが、それぞれの候補地で説明をしていくというスタンスでしょうか。</p>
市長	<p>はい、そうです。</p>
記者	<p>来年の二月を目処に今の時点では候補地を一箇所に絞る、とのことですが、一箇所決める際に住民との合意形成がなされた上で一箇所絞りこむという理解でよろしいでしょうか。</p>
環境部長	<p>はい、そのように考えております。</p>
記者	<p>今回示されている整備候補地四箇所ですが、以前第二次整備候補地として示されている九箇所では、もう少し詳しく「手代森5地割付近」と具体的な地名が記されていたのですが、それと照らし合わせてこの四箇所というのは、この九箇所と照らし合わせたものと同じということでしょうか。</p>
環境部長	<p>はい、同じものです。</p>
記者	<p>そうすると盛岡南インターチェンジ付近というのは、もう少し詳しく言うと地名はどのあたりでしょうか。</p>
環境部長	<p>九箇所の中には南インターチェンジ付近は入っていなかったわけですが、地名であれば盛岡市下飯岡として整理させていただいております。</p>
記者	<p>四箇所全部教えていただいてもよろしいですか。</p>

環境部長	<p>②のところが盛岡市手代森5地割, ③が盛岡市上厨川横長根, ④は盛岡市上田小鳥沢, となっております。</p> <p>5 閉 会 事務局から閉会を宣言</p>
------	--